

## 長野県森林づくり指針の計画期間の延長について

### 1 長野県森林づくり指針について

森林づくり指針は、長野県ふるさとの森林づくり条例第9条の規定により、県の森林づくりに関する基本的な展開方向を定めるものです。概ね100年先の本県のあるべき姿と、それを実現するための方向性を示しており、それらを見据えて今後10年間に行う県の施策の基本的な展開方向を定めており、平成22年に、平成23年度から平成32（令和2）年度までを計画期間とする目標値を設定しています。（参照：長野県森林づくり指針及びその概要）

### 2 計画期間の延長

県政運営の基本となるしあわせ信州創造プラン2.0、長野県総合5か年計画（以下、総合5か年計画）は計画期間を平成30年度から令和4年度としており、森林づくり指針を踏まえて森林・林業分野の関連目標を設定しています。

そこで、森林づくり指針と総合5か年計画の整合と調和を図るため、平成22年改定の森林づくり指針の計画期間を2年延長し、令和4年度までとします。

### 3 延長後の目標値の設定

- ・総合5か年計画の指標とした素材生産量は同一の目標値を活用
- ・素材生産量以外の目標値は、総合5か年計画の目標値を設定した際に活用・検討した数値や、実績値、関連する計画等を踏まえて延長後の目標値を設定

### 4 延長後の目標値

#### （1）基本指標

項目	基準値 (H21)	現行目標値 (R2)	実績 (R1)	説明	延長後の目標値 (R4)
民有林の整備 50年後の針葉樹 占有率	59%	43% ※当該項目の み目標年度を R42に設定	59%	間伐は進むも、皆 伐が少なく、統計 上の変化なし	<b>43%</b> 目標年度を R44 と し、現行指針の目標 値を踏襲
民有林の間伐 期間累計	-	18.4万 ha	14.4万 ha	条件困難地が残 存、集約化の人員 と現場労務が不足	<b>20.3万 ha</b> 総合5か年計画の 目標値設定に活用
素材生産量 年間	30.5万 m <sup>3</sup>	75.0万 m <sup>3</sup>	56.4万 m <sup>3</sup>	製材は減少、合板 は増加、バイオマ スは今後増加見込	<b>80.0万 m<sup>3</sup></b> 総合5か年計画の 目標値設定に活用
林業就業者数	2.6千人	3.0千人	1.4千人	働き手の減少、保 育事業の減少、就 業環境が不十分	<b>2.2千人</b> 総合5か年計画の 目標値設定に活用

## (2) 施策指標

項目	基準値 (H21)	現行目標値 (R2)	実績 (R1)	説明	延長後の目標値 (R4)
保全される 集落数 期間累計	-	700 集落	493 集落	災害の激甚化・多様化により対策に遅れ	<b>670 集落</b> 総合5か年計画の目標値設定に検討
山地災害危険 地区整備率 期間累計	18.3%	21.2%	20.8%	現行目標値はR2に達成見込	<b>21.8%</b> 過去の伸び率から算出
間伐材搬出量 年間：民有林	14.3万m <sup>3</sup>	23.8万m <sup>3</sup>	14.1万m <sup>3</sup>	H26～30は17～19万m <sup>3</sup> で推移も、台風の影響や搬出間伐から主伐に移行しつつあり減少	<b>28.0万m<sup>3</sup></b> 総合5か年計画の目標値設定に活用
路網延長 累計	12,829km	14,429km	14,471km	R1実績はR2目標値を達成	<b>14,719km</b> 過去の伸び率から算出
路網密度 累計	18.9m/ha	21.2m/ha	21.1m/ha	R2目標値はR2に達成見込	<b>21.6m/ha</b> 過去の伸び率から算出
-素材生産量 用途別- 製材用 年間	169千m <sup>3</sup>	414千m <sup>3</sup>	179千m <sup>3</sup>	住宅着工数の減少、合板需要の増加により伸び悩み	<b>303千m<sup>3</sup></b> 総合5か年計画の目標値設定に検討
-素材生産量 用途別- 合板用 年間	76千m <sup>3</sup>	119千m <sup>3</sup>	234千m <sup>3</sup>	R1実績はR2目標値を達成	<b>200千m<sup>3</sup></b> 総合5か年計画の目標値設定に検討
-素材生産量 用途別- チップ・バイオマス用 年間	60千m <sup>3</sup>	217千m <sup>3</sup>	151千m <sup>3</sup>	木質バイオマス発電施設の稼働が開始されており今後増加の見込	<b>297千m<sup>3</sup></b> 総合5か年計画の目標値設定に検討
県産材出荷量 年間：製材品出荷量	120千m <sup>3</sup>	237千m <sup>3</sup>	96千m <sup>3</sup>	住宅着工数の減少、合板需要の増加により伸び悩み	<b>200千m<sup>3</sup></b> 総合5か年計画の目標値設定に検討
森林の里親契約 件数 期間累計	51件	100件	139件	R1実績はR2目標値を達成	<b>154件</b> 森林税基本方針の目標値
ニホンカ生息頭数 保護管理計画策定時点	62千頭	31千頭	217千頭	生息頭数は5年毎の調査で更新しており、R2調査の推定により、R1は217千頭と算出。	<b>184千頭</b> R1生息頭数比15%減
野生鳥獣被害に 対する支援集落 年間	919集落 (被害集落 1,300集落)	全被害集落 に対し支援 を継続	665集落 (被害集落 939集落)	R元の被害発生集落である939集落の内665集落を支援(70.8%)	<b>対象集落の内、被害発生集落の7割以上を支援</b> 過去の実績から算出